

# 安全データシート

## Safety Data Sheet

### 1. 製品名及び会社情報

管理番号 : SDS B-002  
 製品名 : バスクリーナーサット  
 会社名 : 装栄株式会社  
 住所 : 大阪府大阪市西区安治川2丁目1番4号  
 担当部門 : 管理部  
 電話番号 : 06-6584-1791  
 FAX番号 : 06-6584-1793  
 推奨用途及び使用上の制限 : お風呂用合成洗剤

### 2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性  
 引火性液体 : 区分外  
 金属腐食性物質 : 分類できない  
 健康に対する有害性  
 急性毒性(経口) : 区分に該当しない  
 急性毒性(経皮) : 分類できない  
 皮膚腐食性/刺激性 : 区分2  
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分1  
 呼吸器感受性 : 分類できない  
 皮膚感受性 : 分類できない  
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない  
 環境に対する有害性  
 水生環境有害性・急性 : 区分1  
 水生環境有害性・慢性 : 区分3

#### GHSラベル要素



注意喚起語 : 危険  
 危険有害性情報 : 皮膚刺激  
 重篤な眼の損傷  
 水生生物に非常に強い毒性  
 長期継続的影響によって水生生物に有害

### 3. 組成及び成分情報

単一製品、混合物の区別 : 混合物  
 成分及び含有量 : 界面活性剤(ポリオキシエチレンアルキルエーテル 1%、他)、溶剤、分解剤、除菌剤、香料  
 危険有害性成分 : ポリオキシエチレンアルキルエーテル 1.0%含有

内分泌攪乱作用を有すると疑われる化学物質(環境省)	原料として使用していません。
室内空気汚染物質濃度指針値対象物質(厚生労働省)	原料として使用していません。
学校環境衛生基準検査対象物質(文部科学省)	原料として使用していません
改正建築基準法における建築内装材の規格	当該法律に言う建築材料には該当しません。 ホルムアルデヒドは、原料として使用していません。

### 4. 応急処置

吸入した場合 : 被災者は空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合	:	気分が悪い時は、医師の診断を受ける。 水又は、ぬるま湯で十分に洗浄すること。もし異常があれば、速やかに医師の診断を受ける。
目に入った場合	:	絶対に目をこすらずに 15 分以上注意深く流水で目を洗い、至急医師の診察を受けること。痛み等がない場合でも念の為に、医師の診察は受けること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してから、同様の処置を行う。
飲み込んだ場合	:	直ちに多量の水を飲ませるなどの応急処置を行った後に、至急医師の診察を受けること。被災者の意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
応急処置をする者の保護	:	救助者は必要に応じて適切な保護具を着用する。

## 5. 火災時の措置

消火剤	:	粉末、二酸化炭素、乾燥砂、泡消火剤、など
特有の消火方法	:	ガスの滞留しない場所で風上より消火し、漏洩防止処置を施す。
消火を行う者の保護	:	消火作業の際は、空気呼吸器を含め適切な保護服(耐熱性)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	:	関係者以外の立入りを禁止する。漏洩場所を換気する。漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	:	環境中に放出してはならない。河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。少量の場合は、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、安全な場所に覆って密閉できる空容器に回収する。
封じ込め及び浄化方法 ・機材二次災害の防止策	:	危険でなければ漏れを止める。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉塞場所への流入を防ぐ。床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い		
技術的対策	:	(8.暴露防止及び保護措置)に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項	:	(8.暴露防止及び保護措置)に記載の局所排気装置、全体換気を行なう。 換気の良い場所で取り扱うこと。眼、皮膚又は衣類に付けないこと。取扱い後はよく手洗いうがいをする。
接触回避	:	(10.安定性及び反応性)を参照。
保管		
保管条件	:	子供の手の届くところには保管しない。又、いたずら・悪用等されないようにする。水漏れのない屋内で凍結や40℃以上の高温になる場所では保管しない。
容器包装材料	:	密閉式の破損しないものに入れる。例えば、ステンレス、ポリエチレン(HDPE)、ポリプロピレンなどの密閉可能な容器など。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	:	換気、通風をしながらご使用ください。本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。
保護具		
呼吸器の保護具	:	通常の手洗いやうがいで済む場合は特に必要ない。状況に応じて着用する。
手の保護具	:	耐薬品性の保護手袋を着用すること。
目の保護具	:	保護眼鏡(例えば、普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	:	長袖作業衣、ゴム長靴
衛生対策	:	取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。
暴露限界		
許容濃度	:	データなし

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状态

形状	:	液体
色	:	黄色
臭い	:	柑橘臭を伴う。
pH(原液)	:	7~8
比重	:	約 1.0
沸点	:	水程度の沸点と推察する。
引火点	:	データなし
自然発火温度	:	なし
溶解性	:	水に任意に溶解

## 10. 安定性及び反応性

安定性	:	通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	:	適切な情報は得られていない。
避けるべき条件	:	凍結、高温、光、過剰な酸素など。
混触危険物質	:	酸性物質、酸化性物質、その他一般的な混触禁止物質との混触は避ける。
危険有害な分解生成物	:	燃焼などにより CO 等の有害ガスを発生する恐れがある。

## 11. 有害性情報

皮膚腐食性/刺激性	:	製品としてのデータなし。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	:	製品としてのデータなし。

## 12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	:	製品としてのデータなし。
水生環境慢性有害性	:	製品としてのデータなし。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	:	廃液等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。 容器、機器装置等を洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さない事。 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託する事。 量の多少に関わらず下水道以外の公共水域などへの排出は絶対に避ける事。
汚染容器及び包装	:	容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。 地域の規則に従う。

## 14. 輸送上の注意

国際規制		
海上規制情報	:	特になし。
航空規制情報	:	特になし。
国内規制		
陸上規制情報	:	特になし。
海上規制情報	:	特になし。
海洋汚染物質	:	特になし。

## 15. 適用法令

国内適用法令		
PRTR 法	:	該当(報告義務あり) 第一種指定化学物質 ポリオキシエチレンアルキルエーテル(1.0%含有)
化審法(特定化学物質・監視化学物質)	:	該当しない
労働安全衛生法	:	該当しない

毒物及び劇物取締法 : 該当しない  
消防法 : 該当しない  
船舶安全法 : 該当しない  
航空法 : 該当しない

## 16. その他の情報

### 問い合わせ先

会社名 : 装栄株式会社  
住所 : 大阪府大阪市西区安治川 2 丁目 1 番 4 号  
担当 : 管理部  
電話番号 : 06-6584-1791  
FAX番号 : 06-6584-1793  
引用文献 : 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)改訂 3 版

## お願い

本記載内容は本製品に関するものであり、危険・有害性化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う業者に提供されるものです。又、情報の正確性、信頼性、あるいは完全性について保証するものではありません。記載内容は現時点で入手出来る情報に基づいて作成してありますが、新しい知見により改訂されることがあります。取扱う業者は、これらを参考として自らの責任に於いて、個々の取扱い等の実態に応じた、安全な使用条件で適切な処置をこざる事を理解した上で、使用されるようお願い致します。